

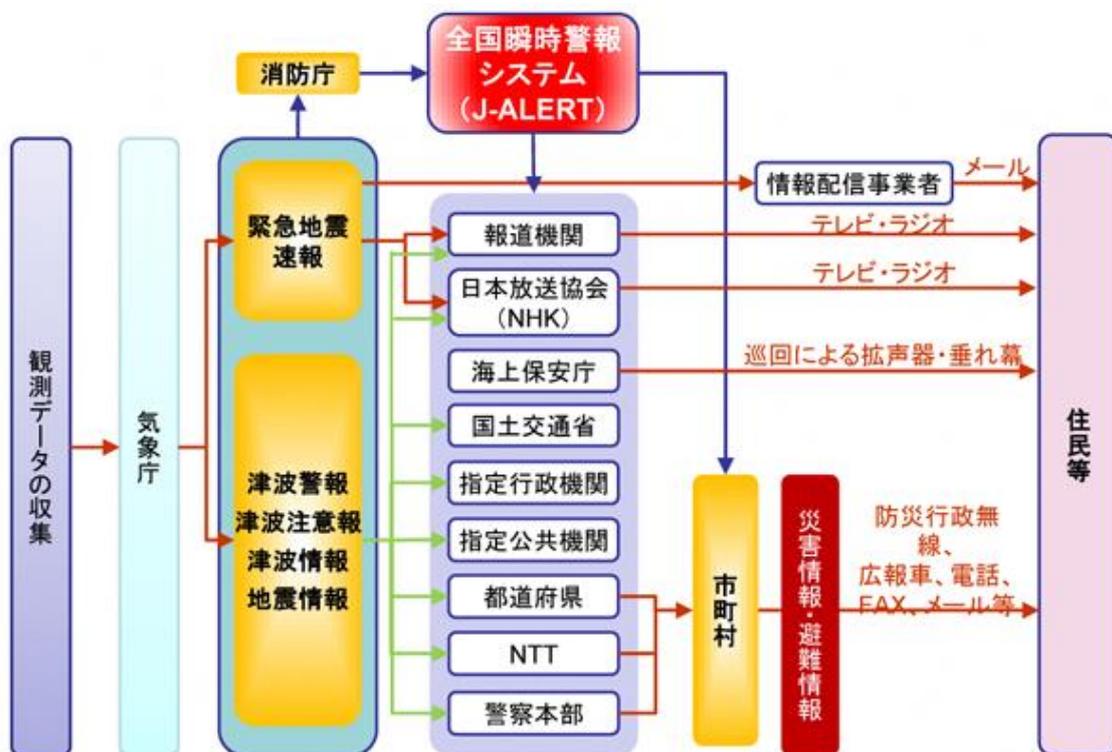
緊急情報の伝達手段である「J-ALERT」について知りましょう！

平成29年8月29日（火）午前6時頃に北朝鮮西岸から発射されたミサイルが日本の領空を通過しました。本事案に伴い、国民に危険が伴う可能性があったことから、消防庁はJ-ALERTを利用し、対象地域に対してミサイルが発射された旨の周知を行いました。類似する事案により、愛知県が対象地域に含まれた場合の行動の参考にしてください。

1. J-ALERT(ジェイアラート)とは

総務省消防庁から発出される緊急情報です。大きな地震や武力攻撃時など、事態に対処するための時間に余裕がなく、国から住民に対して瞬時に情報伝達をするために利用されます。危険が伴う地域にいる場合は、携帯電話やスマートフォンが突然鳴動するとともに、テレビやラジオ等でどのような危険が迫っているかを知らせます。

2. J-ALERTの仕組み



出典：消防庁「全国瞬時警報システム」リーフレットより

3. ミサイルが落下する可能性がある場合の行動について

J-ALERTによる緊急情報で、ミサイルが近くに落下する可能性があることがわかった場合は、次項を参考に行動をしてください。

ミサイル落下時の行動について

- ミサイルは発射から極めて短時間で着弾します。
- ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、J-A L E R Tにより携帯電話やスマートフォンの端末へ緊急速報メールが配信されるとともに、テレビやラジオ等を通じて緊急情報をお知らせします。

メッセージが流れたら、直ちに以下の行動をとってください。

【屋外にいる場合】

- 近くのできるだけ頑丈な建物や地下に避難する。
- 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。

【屋内にいる場合】

- できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動する。

～行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください～

詳細については、国民保護ポータルサイト (<http://www.kokuminhogo.go.jp/>) をご覧ください。